

# 新市の誕生を目指して

## 合併協議会設置のごあいさつ



会長  
佐久市長  
三浦 大助

合併協議会の設置にあたり、地域住民の皆様方をはじめ、関係各位のご支援とご協力に對しまして、厚くお礼申し上げます。  
市町村合併につきましては、様々なご意見を耳にします。しかし、間もなく少子高齢化から急激な人口減少社会が訪れようとしています。

平成の市町村合併は、我が国の人口減少社会により、将来必ずもたらされる諸課題を克服し、自治体として生き抜くための21世紀のふるさとづくりへの挑戦です。今日のような時代の変革期において、20年、30年先を見据え、4市町村それぞれの個性を活かして、佐久地域の将来を担う10万都市を誕生させることは、住民福祉の向上を図る面からも、また、未来を担う子どもたちのためにも、非常に重要な意味を持つものと考えています。

皆様方には、合併協議会について相変わらぬご理解ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



副会長  
白田町長  
加藤 哲夫

このたび、新たに望月町が加わり、佐久市・白田町・浅科村・望月町合併協議会が設立されました。これは、誠に同慶に堪えません。住民に最も身近な自治体が、行政基盤を強化し、より質の高い住民生活の実現を目指していくため、豊かな自然環境を継承するなかで、市町村合併による新市建設

を地域基盤強化の来るべきチャンスとして捉え、現状の諸課題に的確に対処しつつ広い視点に立ち、安心して豊かに暮らせるまちづくりを進める必要があります。加えて今日まで社会を支えてこられたお年寄りのため、またこれから社会を支えていく子どもたちのためにも、21世紀を生き残る足腰の強い自治体づくりを目指さなければなりません。

終わりになりますが、構想の基本理念にあります絆を基本として、「21世紀の新たな文化発祥の大地」の構築が、新市民全員の協力のもとに一日も早く到来することを、心から願うものであります。



副会長  
浅科町長  
佐藤 治郎

4市町村による合併協議会は、当村にとって住民からの強い要望がありました望月町も参加しての設置であり、大変喜ばしい事であります。

平成14年8月26日に任意合併協議会を設置して以来、事務事業や各種サービスについて協議を進めてまいりました。市町村の地域性を考慮しての政策的事業が多く、かなり

また、新市建設計画構想は、新しいまちづくりの基本指針である、将来像や施策を示すものであり、グローバル社会に対応できる都市基盤を構築し、先人たちが培ってきた叡智とほとばしる情熱をもって21世紀の新たなまちづくりを目指しています。

住民の皆様からは「合併したら、今までと比べてどうか」とよく聞かれますが、それは行政と皆様との協働によって築くものであり10年・20年後に成果が現れるものだと思います。

今後、皆様にはご理解、ご支援賜りますようお願いし、合併協議会設立にあたってのご挨拶とします。



副会長  
望月町長  
竹花 健太郎

このたび望月町は、法定協議会からの参加となりますが、これにつきましても関係4市町村の住民の皆様はじめ、関係各位のご理解を賜り厚く御礼申し上げます。

まさに新たな市の発足に向けて事実上のスタートとなったわけであり、ご同慶に堪えません。地方自治のあり方が大きく変わるうとしてあります。この中にある

で、先人たちが築き守ってこられた歴史・文化・伝統、自然環境などを基礎として、子どもや孫たちの将来や今後の地域の進むべき方向を展望するとき、合併はまちづくりの有効な手段の一つであると考え、合併協議に参加することとしました。

協議にあたりましては、これまで3市町村で調整されてきた内容等を尊重することは当然として、新しい仲間の意見にも十分耳を傾けていた、できたいと考えております。

今後は、住民の皆様様に協議内容を詳細にお伝えしながら理解を得ていく所存でありますので、皆様方のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。